

# 調査・研修等計画届出書

令和2年11月10日

瀬戸市議会議員 様

議員名 山田 治義



政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 2年 11月 18日	
調査先・研修名	ふじのくに地球環境史ミュージアム	
会場名(会場所在地)	静岡県駿河区大谷 5762 番地 静岡市	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	にじの丘学園の開校に伴い発生した小学校跡地の有効活用の検討を行うにあたり、先進事例の1つである、県立高校を改築した「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の視察を行うもの。	
議長名の依頼	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	依頼先(名称)
		ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長 安田 喜憲
同行者名	瀬戸市議会議員 三木 雪実・柴田 利勝・水野 良一 小澤 勝・西本 潤・	

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和 2 年 12 月 2 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 山田 治義



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 2 年 11 月 18 日
調査先・研修名	ふじのくに地球環境史ミュージアム
会場名 (会場所在地)	静岡県静岡市駿河区大谷 5762 番地
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	にじの丘学園の開校に伴い発生した小学校跡地の有効活用の検討を行うにあたり、先進事例のひとつである、県立高校を改築した「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の視察を行うもの。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
<ul style="list-style-type: none"><li>・校舎を利用しているためエレベーターが無く、障害者や高齢者には階段での昇り降りが負担となる。</li><li>・アクセスがバスだけであり、利便性が良いとは言えない。結果として来館者数は伸びていないと思われる。</li><li>・展示スペースはよく工夫されおり、収集品の保管についても空調や遮光等、収納環境に配慮がされている。</li></ul>	

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

別添参照

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

本市における学校跡地は中心市街地に位置し、交通アクセスも良いことから、今後、様々な利活用を検討するうえで、立地条件の一つはクリア出来ている。

校舎の活用についても、この自然史博物館のように工夫次第で低コストで魅力的な利活用が可能である。

現在、本市においては県税事務所跡地をリサイクルセンターとして利用している。また過去には、水道課が県の事務所跡地を利用してきたこともある。本市の学校跡地利活用を検討するうえで、逆に県など他の公共団体の利活用についても働きかけをし、利活用の幅を広げる必要がある。



ふじのくに  
地球環境史  
ミュージアム

学芸課長 | 教授

渋川 浩一

〒422-8017  
静岡市駿河区大谷5762  
Tel 054-260-7111 Fax 054-238-5870  
✉ koichi1\_shibukawa@pref.shizuoka.lg.jp  
✉ shibu@crux.ocn.ne.jp  
www.fujimu100.jp

百年後の静岡が豊かであるために



ふじのくに  
地球環境史  
ミュージアム

副館長

内野 昌美

〒422-8017  
静岡市駿河区大谷5762  
Tel 054-260-7111 Fax 054-238-5870  
✉ masami1\_uchino@pref.shizuoka.lg.jp  
www.fujimu100.jp

百年後の静岡が豊かであるために

令和2年11月16日

経営戦略部  
政策推進課  
公共施設マネジメント係  
木村 浩之 様

「ふじのくに地球環境史ミュージアム」視察質疑内容

自民新政クラブ

- ① 運営は県が行っていると聞かすが、業務を委託されておられるか
- ② 旧校舎を展示室に活用しているが、耐震、耐久年数はどれくらいなのか
- ③ ミュージアムの開館により地域に及ぼした効果について
- ④ ミュージアムを開館するまでの経緯について
- ⑤ 選考された基準と選考理由について
- ⑥ ミュージアムの立地のより良い条件について
- ⑦ 地域との協調と合意に至る経緯について
- ⑧ 他県の施設と比較すると入館料に差があるがこの金額を設定した根拠は何か
- ⑨ 年間の県外県内来館者数と年齢層について
- ⑩ 開館して想定外の課題が発生したか、あればその課題について

※とりあえず以上の項目をお伝えします。当日はよろしくお願いたします。

水野良一

① 災害時における、防災機能を有しているか

- ・ 静岡市から次の指定を受けています。(大谷小学校が第一の避難所とされており、今まで静岡市から避難所開設の要請は受けたことがない。)

区 分	種 別	備 考
グラウンド	一次避難地	
講堂 (153 m <sup>2</sup> )	避難所	収容可能人数 51 人
図鑑カフェ (229.5 m <sup>2</sup> )	避難所	収容可能人数 76 人

- ・ その他に静岡市に対しグラウンドへの防災倉庫の設置を許可 (行政財産使用許可) しています。

② 運営は県が行っていると聞いていますが、業務委託はされておられるのか

- ・ 以下の業務を委託しています。

来館者サービス業務、標本・資料整理保存業務、清掃業務、ミュージアムショップ営業業務、警備業務、消防設備等各種点検業務、バス運行業務など

③ 旧校舎を展示室に活用していますが、耐震及び耐久年数はどれくらいなのか

- ・ 東海地震緊急対策方針に基づく公共建築物の耐震性能の公表の中で、東海地震に対する耐震性能は「I a」と評価されています。

I a・・・東海地震に対する耐震性能が優れている建物。軽微な被害にとどまり、地震後も建物を継続して使用できる。

- ・ 鉄筋コンクリートの建築物の法定耐用年数は 47 年ですが、これは減価償却費を計算するために用いる数字であり、実際の耐用年数はメンテナンスや立地環境により異なるそうです。

④ ミュージアムの開館により、地域に及ぼした効果はどのようなものがあるか

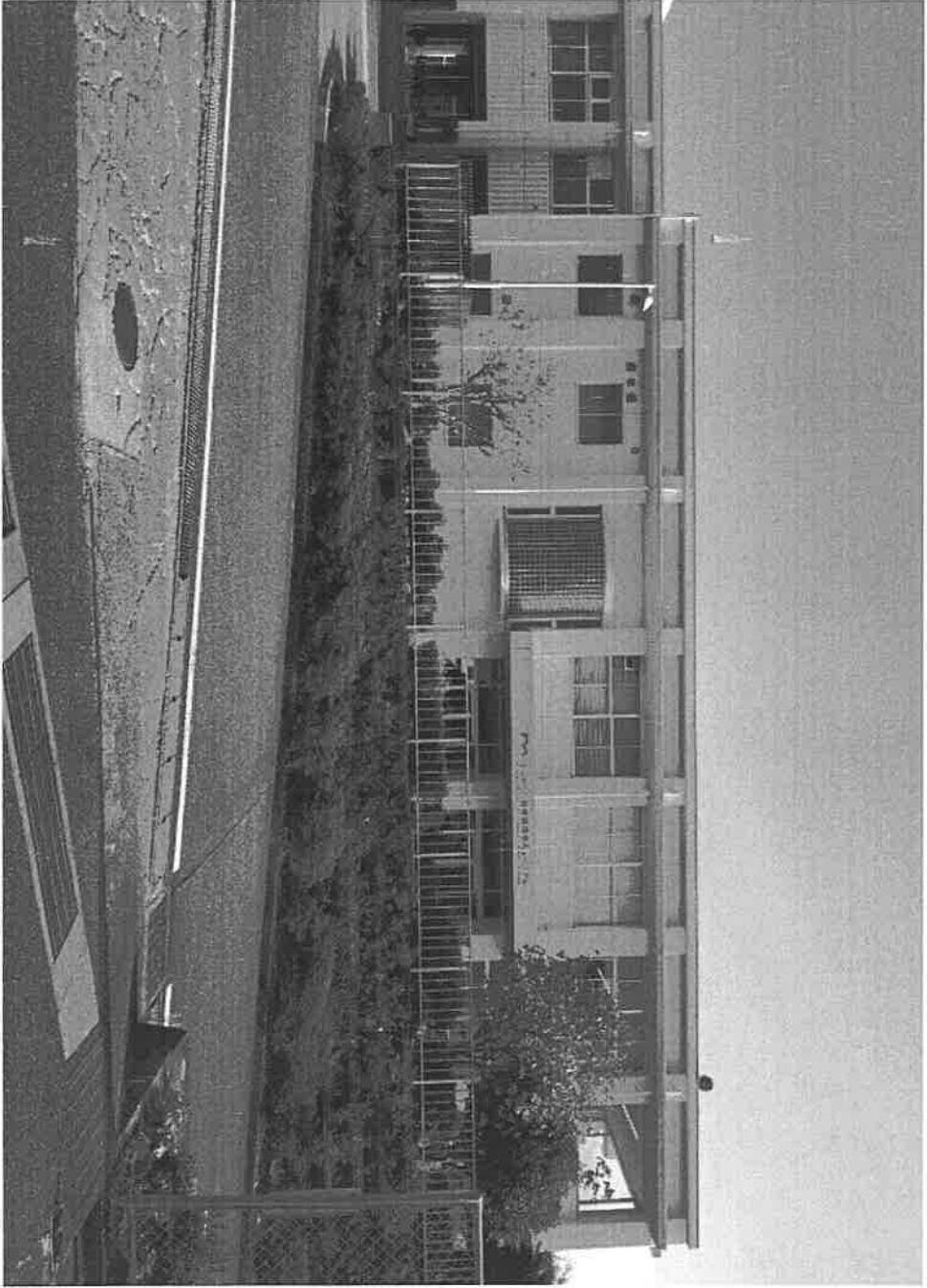
- ・ 地元の駿河台、洋光台団地等は、1980 年代に整備された住宅団地で、住民の高齢化に加え、平成 24 年度に静岡南高校の廃校が決定し、地区の活気が無くなっていくことを憂慮していました。
- ・ 過去の地元自治会との交渉記録を見ると、静岡南高校の跡地に同じく文教施設であるミュージアムが開館することが決まり、地元自治会は地域が賑わうことを歓迎していたとのことでした。

⑤ ミュージアムを開館するまでの経緯についてお聞きしたい

- ・ 資料のとおりです。

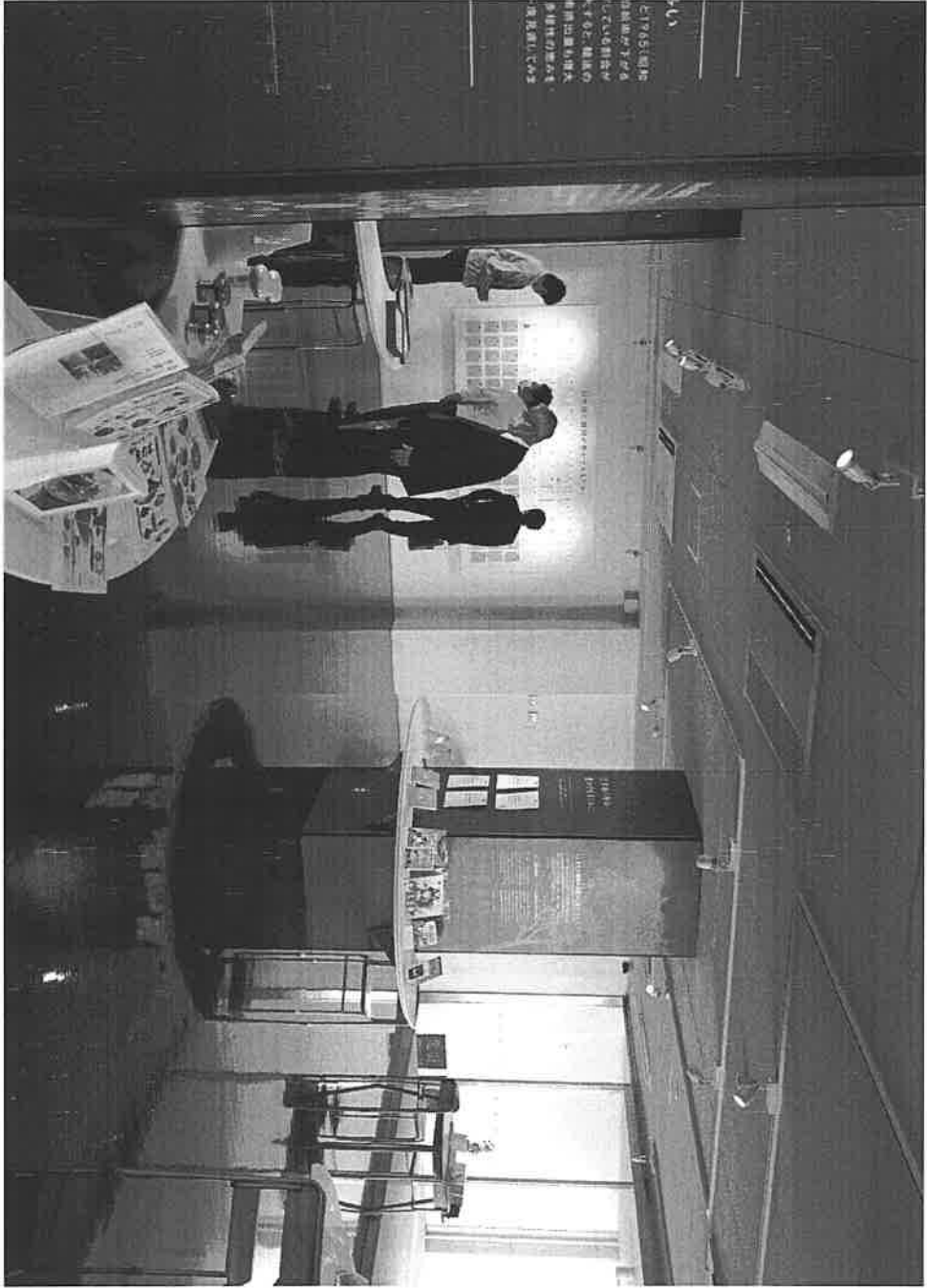
⑥ 選考された基準と選考理由について

- ・ 以前から民間などが所有する既存の標本・資料の散逸を防ぐため、その収集をしており、広い













# 行程表

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃	円	特急料金	円
2 年 11 月 18 日	瀬戸市役所前	名鉄	往復	大曾根	14.8	km	820	円		円
	名古屋	新幹線	往復	静岡	185.8	km	12,540	円		円
								円		円
								円		円
								円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

13,360 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃	円	特急料金	円
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
							km		円	円
							km		円	円
							km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

小計 0 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃	円	特急料金	円
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
							km		円	円
							km		円	円
							km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

パック等による割引など 小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

13,360 円

申請額合計 (宿泊費+交通費-割引代)
13,360 円